
業務報告

平成 25 年度 業務報告

平成 25 年度中に実施した業務活動の主なものを以下に示します。

平成 25 年度主要活動状況

- 平成 25 年 4 月 有機廃液受入（第 1 回），無機廃液受入（第 1 回），排水定期分析，
岡山市立入採水対応（津島地区）
- 5 月 廃液処理技術指導員講習会（津島地区），有機廃液受入（第 2 回），
排水定期分析
- 6 月 有機廃液受入（第 3 回），無機廃液受入（第 2 回），特殊廃液受入（第 1 回），
排水定期分析，PRTR 報告，PCB 報告，廃棄物報告
- 7 月 有機廃液受入（第 4 回），排水定期分析，岡山市立入採水対応（津島地区）
- 8 月 排水定期分析
- 9 月 有機廃液受入（第 5 回），排水定期分析
- 10 月 有機廃液受入（第 6 回），写真廃液受入，排水定期分析，化学物質管理状況監査
- 11 月 有機廃液受入（第 7 回），無機廃液受入（第 3 回），排水定期分析，
岡山市立入採水対応（津島地区），廃液処理技術指導員講習会（鹿田地区），
化学物質管理状況監査
- 12 月 有機廃液受入（第 8 回），排水定期分析，化学物質管理状況監査
- 平成 26 年 1 月 有機廃液受入（第 9 回），無機廃液受入（第 4 回），特殊廃液受入（第 2 回），
排水定期分析
- 2 月 有機廃液受入（第 10 回），排水定期分析，岡山市立入採水対応（津島地区）
- 3 月 排水定期分析

1. 廃液について

1.1 無機廃液

無機廃液は、年 4 回の受け入れを行っています（うち 2 回は重金属廃液のみ）。平成 25 年度無機廃液の部局別年間搬入量を表 1 に示します。無機廃液の搬入量は、平成 24 年度実績（6,065kg）に比べて減少しており、近年低水準で推移しています。

また、水銀廃液を除く無機廃液については、容器全て水銀含有のチェックを行うこととしています。結果として、例年同様に水銀廃液を排出する講座の重金属廃液の一部及び長期間使用していると思われる重金属廃液容器に貯留されていた廃液の一部に水銀含有が認められ、水銀廃液として扱うこととなりました。

表 1 平成 25 年度無機廃液部局別搬入量 (単位：kg)

	地セ	教育	理	医歯	薬	工	環理	農	植研	学務	環セ	合 計
重金属	0	0	1,411	23	99	1,467	1,156	384	40	565	0	5,145
水 銀	0	0	25	0	0	125	23	0	0	0	0	173
シアン	0	0	10	0	0	3	66	0	1	17	0	97
部局別計	0	0	1,446	23	99	1,595	1,245	384	41	582	0	5,415

1.2 有機廃液

有機廃液は、8 月及び 3 月を除く毎月 1 回、年 10 回の受け入れを行っています。平成 25 年度の有機廃液の部局別年間搬入量を表 2 に示します。有機廃液の搬入量は、平成 24 年度実績（27,621kg）に比べて増加しており、近年は、年間 2 万 kg 超で推移しています。

有機廃液は、消防法において危険物に該当します。試薬を含め一定数量以上保管することは、火災発生の危険性が高くなりますので、計画的な処分をお願いします。

表 2 平成 25 年度有機廃液部局別搬入量 (単位：kg)

	学務	教育	理	鹿田	薬	工	環理	農	植研	埋文	異分	教セ	合 計
非水溶性有機溶媒	0	160	956	173	745	2,503	101	127	0	0	216	0	4,981
水溶性有機溶媒	0	0	474	171	444	1,410	1,222	777	53	0	178	0	4,729
廃オイル類	0	0	92	0	93	108	92	17	13	0	9	0	424
その他自燃性有機廃液	0	0	10	24	14	23	31	190	0	0	0	0	292
低濃度塩素系有機廃液	0	0	524	168	1,980	1,607	52	109	37	0	34	0	4,511
高濃度塩素系有機廃液	0	0	1,193	81	1,799	3,375	2,000	440	19	0	168	0	9,075
ホルマリン廃液	0	9	89	426	0	8	0	20	0	0	19	0	571
その他難燃水系廃液	0	0	267	714	768	2,136	1,830	162	32	0	92	0	6,001
部局別計	0	169	3,605	1,757	5,843	11,170	5,328	1,842	154	0	716	0	30,584

1.3 写真廃液

写真廃液は、年 1 回 10 月にのみ受け入れを行っています。平成 25 年度の写真廃液部局別搬入量を表 3 に示します。写真廃液の搬入量は、平成 24 年度実績（1,388kg）に比べて減少しました。

現像廃液及び定着廃液とも委託業者により処理されますが、定着廃液は廃液中に含まれる銀が回収されています。

表 3 平成 25 年度写真廃液部局別搬入量

(単位：kg)

	学務	保セ	ア総	教育	理	医歯	薬	工	環理	農	植研	文	環セ	合 計
現像廃液	80	0	0	0	82	200	64	81	0	69	0	0	0	630
定着廃液	43	0	0	0	51	174	63	77	0	30	0	0	0	475
部局別計	123	0	0	0	133	374	127	158	0	99	0	0	0	1,105

1.4 特殊廃液

特殊廃液は、無機廃液の搬入と併せ、年 2 回の受け入れを行っています。平成 25 年度の特種廃液部局別搬入量を表 4 に示します。特殊廃液の搬入量は、平成 24 年度実績（536kg）に比べて減少しました。

表 4 平成 25 年度特殊廃液部局別搬入量 (単位：kg)

	学務	理	医	薬	工	環	農	植研	合計
部局別計	0	253	76	109	17	22	4	2	483

2. 排水について

2.1 津島地区排水の状況

津島地区では、実験系洗浄排水は毎月 1 回、生活系排水は年 1 回の排水定期分析を行っています。平成 25 年度の津島地区団地実験洗浄排水及び生活排水の水質分析結果を表 5 に示します。平成 25 年度は、いずれの調査においても排除基準を超過することはありませんでした。

また、岡山市下水道局の立ち入り調査が年に数回ありますが、平成 25 年度は 4 月 10 日、7 月 16 日、11 月 20 日、2 月 4 日の年 4 回実施され、いずれの調査においても排除基準を超過することはありませんでした。今後とも、適正な排水管理をよろしくお願いします。

2.2 水質関連法令改正対応について

本学において水質汚濁防止法の改正への対応は、排水中の有害物質の濃度を検出限界以下とすることを実行する必要があります。ここで、水使用者すなわち全構成員に対して、絶対に有害物質を流しから排出しないよう、対策をとるようにしていただくしかありません。現在、行政と協議を行うと共に、学内規定の改正について最終的な議論を行っています。

また、同時に求められている洗浄施設の流しの床面、周囲の構造等の定期点検については、新たに制定された化学物質管理規程及び実施要項において対応を行います。点検の具体的な手順については、平成 26 年度内に説明会を予定しています。

表 5-1 平成 25 年度津島地区団地実験洗浄排水・生活排水水質分析結果

測定項目 (単位)			有害物質										
			ナトリウム 及びその 化合物	リン 化合物	鉛 及びその 化合物	六価クロム 化合物	砒素 及びその 化合物	全水銀	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロ エタン
採水日		団地名	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
4月4日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	0.003	<0.0002	<0.0004
5月9日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
6月6日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
7月4日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
8月1日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
9月5日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年 10月3日	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
	生活系	北団地	<0.001	<0.1	0.006	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		教育(13)	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		理(15)	<0.001	<0.1	0.008	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		新技術(16)	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
	東団地	<0.001	<0.1	0.012	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004	
	西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004	
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	0.004	<0.0002	0.0007
11月7日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成25年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.005	0.006	<0.0002	<0.0004
12月5日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成26年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
1月9日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成26年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	0.014	<0.0002	<0.0004
2月6日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	0.030	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
平成26年	実験系	北団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	0.005	<0.0002	<0.0004
3月6日		東団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
		西団地	<0.001	<0.1	<0.005	<0.04	<0.005	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002	<0.0004
排除基準			0.1	1	0.1	0.5	0.1	0.005	0.3	0.1	0.2	0.02	0.04

表 5-2 平成 25 年度津島地区団地実験洗浄排水・生活排水水質分析結果

測定項目 (単位)			有害物質								環境項目等			
			1, 1-ジクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	1, 1, 1-トリクロロエタン	1, 1, 2-トリクロロエタン	ベンゼン	セレン及びその化合物	ほう素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	1, 4-ジメチル	フェノール類	銅及びその化合物	亜鉛及びその化合物
採水日		団地名	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	0.01	0.02
4月4日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.01
5月9日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	0.01	<0.5	<0.01	0.03
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	0.01	<0.5	<0.01	0.03
6月6日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.03
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.01
7月4日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	0.01	<0.5	<0.01	0.01
8月1日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.03
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.01
9月5日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	0.20	<0.005	<0.5	<0.01	0.03
平成25年 10月3日	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
	生活系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	0.30	<0.2	<0.005	-	-	-
		教育(13)	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	-	-	-
		理(15)	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	0.40	<0.2	<0.005	-	-	-
		新技術(16)	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	-	-	-
東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	0.30	<0.2	<0.005	-	-	-		
西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	-	-	-		
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	0.01	<0.5	<0.01	0.02
11月7日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.03
平成25年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	0.01	0.02
12月5日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	0.01	<0.5	<0.01	0.02
平成26年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	0.30	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
1月9日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
平成26年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
2月6日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
平成26年	実験系	北団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
3月6日		東団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	<0.01
		西団地	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.002	<0.2	<0.2	<0.005	<0.5	<0.01	0.02
排除基準			0.2	0.4	3	0.06	0.1	0.1	10	8	0.5	5	3	5

表 5-3 平成 25 年度津島地区団地実験洗浄排水・生活排水水質分析結果

測定項目 (単位)			環境項目等									学内規制項目	
			鉄 及びその 化合物 (溶解性)	マンガン 及びその 化合物 (溶解性)	クロム 及びその 化合物	生物化学 的酸素要 求量	浮遊物 質量	ノルマルヘキサン 抽出物質 含有量	窒素 含有量	磷 含有量	沃素 消費量	化学的 酸素 要求量	大腸菌 群数
採水日		団地名	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(個/ml)
平成25年	実験系	北団地	0.09	0.02	<0.04	6.8	3.2	<0.5	<1.0	0.200	<10	4	340
4月4日		東団地	0.01	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.070	<10	2.8	85
		西団地	0.25	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.080	<10	2.1	<30
平成25年	実験系	北団地	0.07	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.320	<10	5.0	<30
5月9日		東団地	0.02	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.070	<10	2.3	<30
		西団地	<0.01	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.070	<10	2.0	<30
平成25年	実験系	北団地	0.09	<0.01	<0.04	4.5	1.6	<0.5	<1.0	0.270	<10	4.4	<30
6月6日		東団地	<0.01	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.080	<10	2.5	<30
		西団地	0.02	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.100	<10	2.2	61
平成25年	実験系	北団地	0.02	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.100	<10	2.7	<30
7月4日		東団地	<0.01	0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.100	<10	2.2	120
		西団地	0.01	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	1.4	0.070	<10	2.7	150
平成25年	実験系	北団地	0.03	<0.01	<0.04	1.2	1	<0.5	<1.0	0.090	<10	2.7	270
8月1日		東団地	<0.01	0.02	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.090	<10	2.5	1200
		西団地	0.03	<0.01	<0.04	<1.0	2	<0.5	1.4	0.070	<10	2.4	62
平成25年	実験系	北団地	0.03	0.01	<0.04	－	－	<0.5	1.2	0.100	<10	2.0	79
9月5日		東団地	<0.01	0.02	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.110	<10	2.1	<30
		西団地	0.02	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	2.6	0.080	<10	2.5	440
平成25年 10月3日	実験系	北団地	0.06	<0.01	<0.04	1.4	3	<0.5	<1.0	0.130	<10	3.5	<30
		東団地	<0.01	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.130	<10	2.0	57
		西団地	<0.01	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	1.1	0.090	<10	2.0	<30
	生活系	北団地	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		教育(13)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		理(15)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		新技術(16)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東団地	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	西団地	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
平成25年	実験系	北団地	0.03	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.090	<10	3.2	<30
11月7日		東団地	0.02	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.100	<10	2.3	420
		西団地	<0.01	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	1.1	0.080	<10	1.9	<30
平成25年	実験系	北団地	0.02	<0.01	<0.04	3.2	<1.0	0.7	<1.0	0.290	<10	2.4	<30
12月5日		東団地	<0.01	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.100	<10	1.9	39
		西団地	<0.01	<0.01	<0.04	<1.0	<1.0	<0.5	<1.0	0.050	<10	1.5	<30
平成26年	実験系	北団地	0.01	0.01	<0.04	－	－	<0.5	1.5	0.090	<10	8.6	130
1月9日		東団地	<0.01	0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.080	<10	2.0	33
		西団地	0.01	<0.01	<0.04	－	－	<0.5	<1.0	0.060	<10	1.9	<30
平成26年	実験系	北団地	0.03	<0.01	<0.04	12.0	<1.0	<0.5	1.4	0.050	<10	5.4	31
2月6日		東団地	<0.01	<0.01	<0.04	－	<1.0	<0.5	<1.0	0.090	<10	1.6	<30
		西団地	<0.01	<0.01	<0.04	2.3	<0.1	<0.5	2.1	0.120	<10	2.0	<30
平成26年	実験系	北団地	0.03	<0.01	<0.04	－	<0.1	1.0	<1.0	0.070	<10	4.8	<30
3月6日		東団地	<0.01	<0.01	<0.04	－	<0.1	0.6	<1.0	0.060	<10	1.7	<30
		西団地	<0.01	<0.01	<0.04	－	<0.1	<0.5	1.4	<0.05	<10	1.8	<30
排除基準			10	10	2	600	600	鉱物油5	80	32	220	50	3000
								動植物油30					

3. 廃棄物について

平成 25 年度における大学全体の廃棄物発生量について、平成 26 年 6 月に「岡山大学廃棄物管理規程」に基づき集計した結果を表 6 に示します。

平成 25 年度は、平成 24 年度に比べて廃棄物の発生量は増加しました。これは、附属図書館が平成 25 年 8 月から改修を行い、多量に排出されたためです。今後とも廃棄物の適正な分別と管理を行い、廃棄物の排出抑制に向けた取り組みが実施されることを望みます。

表 6 平成 25 年度部局別廃棄物処理量集計

部 局 名	産業廃棄物 管理票 発行枚数	年間発生量 (t)			廃棄物 発生量 合 計 (t)
		再資源化物 発生量	一般廃棄物 発生量	産業廃棄物 発生量	
事務局	16	31.378	10.872	2.903	45.153
事務局（学務部）	23	20.677	50.826	13.592	85.095
社会文化科学研究科	11	23.777	2.080	17.460	43.317
教育学部	19	21.309	10.888	2.908	35.105
理学部	88	25.088	6.534	33.740	65.362
薬学部	29	12.927	14.380	25.177	52.484
工学部	104	73.709	22.873	57.321	153.903
環境理工学部	40	27.567	11.513	35.541	74.621
農学部	33	12.010	11.259	26.694	49.963
情報統括センター	－	1.200	0.600	－	1.800
附属図書館	19	8.734	4.117	387.500	400.351
保健管理センター	2	－	0.999	0.161	1.160
環境管理センター	89	－	－	0.396	0.396
国際センター	8	1.140	40.156	15.250	56.546
自然生命科学研究支援センター（動物資源）	51	－	3.380	3.286	6.666
異分野融合先端研究コア	6	4.807	2.527	1.677	9.011
研究推進産学官連携機構	－	－	－	－	－
理学部附属臨海実験所	5	－	－	0.152	0.152
医歯薬学総合研究科（鹿田）	234	11.957	－	117.923	129.880
大学病院	373	392.800	706.200	494.490	1,593.490
大学病院三朝医療センター	13	3.007	2.000	1.728	6.735
地球物質科学研究センター	8	4.096	3.600	27.240	34.936
資源植物科学研究所	17	4.420	8.370	7.834	20.624
附属小学校	－	－	20.688	－	20.688
附属中学校	－	－	8.080	－	8.080
附属特別支援学校	2	－	－	0.152	0.152
合 計	1,190	680.603	941.942	1,235.541	2,858.086

4. 化学物質について

平成 21 年 4 月に施行された化学物質管理規程に基づき、各種調査等を行っています。

4.1 平成 25 年度 PRTR 法第一種指定化学物質の使用量、排出量、移動量概要

PRTR 法に基づく第一種指定化学物質の取り扱いについては、学内規定に基づき、毎年度 5 月までに報告することとされています。平成 25 年度の取りまとめの結果の抜粋を表 7 に示します。

津島地区で排出量・移動量が年間 1 トンを超えたクロロホルム、ジクロロメタン及びノルマル-ヘキサンについて国へ届出を行いました。

表 7 平成 25 年度 PRTR 法に基づく第一種指定化学物質の排出量・移動量 (単位: kg)

第一種指定化学物質	排出量	移動量	排出量・移動量計
アセトニトリル	26.1	901.5	927.6
エチレンオキシド	0.0 ^{※)}	0.2	0.2
キシレン	32.3	460.3	492.6
クロロホルム	54.4	3,031.6	3,086.0
ジクロロメタン	5.7	1,653.5	1,659.2
ジメチルホルムアミド	0.4	330.8	331.2
トルエン	2.2	299.4	301.6
ノルマル-ヘキサン	18.3	5,591.7	5,610.0
ベンゼン	0.1	25.6	25.7
ホルムアルデヒド	1.3	115.3	116.6

※) エチレンオキシドの排出には、触媒により無害化がなされています

4.2 毒物及び劇物の管理 (照合状況報告)

化学物質の中でも、毒物及び劇物については、その性状から法令等により厳格な管理が求められています。本学においても法令等を遵守し、適正な管理に努めています。

平成 22 年度から、前年度に行われた毒物及び劇物の照合結果について、部局ごとに所定の様式にて定期報告を行うこととなっています。

4.3 化学物質管理状況監査

平成 25 年度は、12 月に化学物質管理状況監査を行いました。今回で 5 度目となる監査では、全部局に対する書面審査を行い、4 部局について現地調査を行いました。書面審査では、特に改善指導を要する事項は認められませんでした。しかし、現地調査では、化学物質照合作業報告書に添付する照合作業を行った化学物質のリストがなかったため、照合作業を行った化学物質のリストを添付すること、毒物、劇物及び一般試薬を混在し保管を行っている毒劇物保管庫があったため、毒劇物保管庫内では原則として毒物及び劇物のみを保管し、毒物と劇物は区別・分離して保管すること並びに一般試薬と明確に分離して保管することなどの指導を行った部局が一部でありました。

4.4 新たな化学物質管理規程等

新たな化学物質管理規程及び実施要項が平成 26 年 4 月 1 日から施行されました。主要な変更点としては、化学物質管理を行う最小単位を研究室 (研究グループ) とすること及び部局長の管理区域を建物単位で指定するとしたことです。化学物質による事故等対応を考え、より現実的な管理体制となりました。また、労働安全衛生法に基づく有機溶剤及び特定化学物質の取り扱い状況及び特殊健康診断の受診状況、消防法に基づく危険物の保有状況、高圧保安法に基づく高圧ガスボンベの保有状況及び水質汚濁防止法に基づく特定施設 (流し) の点検結果等について定期報告を行うこととするなど、従前に比べ報告事項の拡大が行われています。